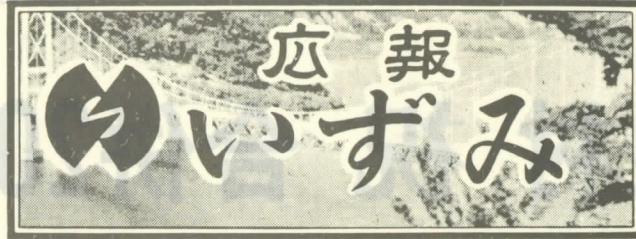


1976 (毎月1回発行)

10月号

(村の面積)  
332.60km<sup>2</sup>



(昭和51年9月1日現在)

村の人口

総人口	1,979人
男	1,014人
女	965人
出生	1人
死亡	0人
転入	6人
転出	8人
世帯数	567世帯

発行所 福井県大野郡和泉村

## 第2回ふる里大会開催される

人を愛し郷土を慕い  
情操豊かなふる里をテーマに



### 祝 和泉村心のふるさと大会

主催 和泉村 後援 和泉村社会福祉協議会・和泉村民生委員協議会・和泉村婦人会

情操豊かな心を育てよう

人を愛し郷土を慕い

近年激動する社会情勢の中にあつて、一般住民の生活水準は著しく向上し、その反面においては、おうらかで、やすらぎある自然とともに生き続けた豊かな人間関係が崩壊されようとしている。

人を愛し、郷土を慕い、情操豊かな心のふるさとを地域におけるすべての住民総参加の中で、受け継ぎ育ててこたまたせつつ「自然と生活の調和」を基調にした福祉の村建設の夢実現のあしがかりとすることを目的とした第二回心のふるさと大会が去る九月十五日、和泉村 社会・教育・福祉総合センターにおいて、村内各団体の協力を得て盛大に開催されました。

この日、村内六十五才以上の老年寄、身体障害者(児)、遺族会、国民年金友の会、母子福祉会など二百数名が、まねかれ、村長の力づよいことばがあつた後、来賓多数のお祝いのことばがあり、八十才以上の老人に対して和泉村から記念品が贈られました。これに引き続き昇竜太鼓をはじめ青年団、婦人会、朝日保育所、中竜民謡クラブ、穴馬民謡保存会、母子福祉、音楽愛好会など各団体による踊りや歌など日頃の練習の成果を披露し、楽しく意義あるふる里大会が行なわれました。

# 和泉村 祝 合併20周年

ごあいさつ

村長 山本清孝



昭和三十一年上、下穴馬両村が合併し、九九九世帯五一〇二名の和泉村が発足してから二十年を迎えました。

より豊かで住みよい郷土の建設に願いをこめて新生した翌年、村を二分する電発構想の発表、また三十三年には小谷堂、三面両部落を迎え入れたものの、基本構想にも取りくめないまま、十年に近い年月を混乱と動揺の中に過し、電源の村となった反面、人口が半減する結果に終わった。

その間三十四年には殉難殉職者合せて二十六名の尊い人命を失う伊勢湾台風の襲来をはじめ、三年連続して台風による大災害をうけ更に四十年には中電鉱業所を中心に災害を蒙る等、前半期は文字通り村の存立もあやぶまれる激動と混乱破乱の時期でありました。

後半の四十年代に至ってようやく本村誕生の趣旨にそった、建設計画と災害復旧が本格的始動期に入ったという状態であります。しかし、本村の二十年の歩みと現況を見る時、村内全域に亘り至

らざる点は多々ありますが、教育文化、社会福祉等の施設整備、諸産業構造基盤の確立、交通網等生活環境立地の整備等、一応の型態を整え、今後の指針を探り得た感を深くする次第であります。

顧みるとき、私の頭に浮ぶものは、この間における関係各機関の方々の心温まるご指導とご援助、各地から寄せられたご高志、そして村民各位のたくましい愛郷精神に基く、再建意欲に燃えたぎった姿であります。

只々感謝と敬意の念につきるのであります。

こうした中で今日残念に思われることは、国の高度経済成長政策による避地の体質的弱さと、前半期の電源ショック並びに大災害による失望等、数多くの原因はありましようが、特に過疎化現象が取り上げられることであります。

是等の現実を深く認識し、今回は他に見られるようなはでやかな祝賀式典を行わず、数字による村政の推移と写真によるうつり変りや現況をまとめた、合併二十年誌を発刊しお手元に配布しご高覧願うこと、また二十年の歩みの中で自治の振興にそれぞれの公職又職場から、功労のあった方々を各機関からご推せん願って、その功を讃える機会をもつことの二行事を執行し、今日を契機に三十年に向って心も新たに「森林の和泉、地下資源の和泉、観光の和泉」の三大指標が一人ひとりの村民の幸

せにつながり、より豊かで住みよい村造りを目指して、全村一丸となり、力強く取組む決意を新たにする次第であります。

このために第二次林業構造改善事業、山村地域農林漁業特別対策事業、特定山村パイロット事業等の指定事業を総合調整しながら、十年後の躍進和泉村の姿を振興計画としてまとめ、それぞれの機関にはかり、今日より明日への限りない和泉村の発展を願って前進すべく計画立案致しておりますので村民各位のご協力をお願い申し上げます。二十周年のご挨拶といたします。

ごあいさつ

議長 吉川 基



昭和三十一年九月三十日、上、下穴馬両村が合併し、和泉村が誕生してから満二十年を迎えまことにご同慶にたえません。

顧みれば昭和三十四年の伊勢湾台風にくく三ヶ年の連年災害、三十八年の豪雪、四十年の風水害とまた、厳しい天災の試練を受け、さらには昭和三十八年電源開発工事のため旧上穴馬全域と長野、鷲両部落が水没等のため全戸村外移

《お知らせ》  
和泉村合併二十周年記念、村民運動会に参加された方には、記念品をおわたします。

住という村造りに大きな障害を受けながら村民各位の強い愛村心と村民のすべてが一体となった村再建への熱意と基盤に行政を担当された先輩各位のたゆまぬご努力に依り激動する社会情勢に対応しながら越美線を始めとする道路の整備、教育文化施設、保健衛生施設等の整備充実を図り本村建設の三大目標である森林の和泉、観光の和泉、地下資源の和泉を根幹とした諸施策をすすめ今日の発展をみえたことはひとえに、村民の深いご理解と関係各位のご協力のたまものと深く敬意と感謝の意を表するものであります。

現今の社会経済情勢は低迷を続け財政面にも厳しさを加えておりますが、越美線の全通、油坂隧道の改良整備、過疎対策等重要問題が山積しています。

これらの問題と積極的に取りくみ二十年の記念すべき年を契機として将来への豊かな住みよい村造りと限りなき村勢の発展のため、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。お祝いのことはいたします。

# 第八十二回定例議会

## 議案八件を可決

第八十二回和泉村議会は、九月二十日招集され、昭和五十一年度一般会計補正予算（第三次）を始め、和泉村国民健康保険条例の一部改正、村営スキー場施設の設置及び管理に関する条例の一部改正など議案八件を原案どおり可決しました。

○和泉村国民健康保険条例の一部改正

○和泉村村営スキー場施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

○村営スキー場のリフト料金及び第三駐車場料金が別表のとおり改正されました。

○昭和五十一年度和泉村一般会計補正予算（第三次）

今回の補正額は、三千六百六十一万六千円ですが、そのおもなものは、次のとおりです。

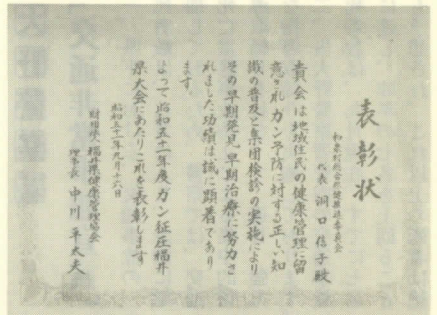
- 総務費 三百万円
- 土木費 (簡易水道会計繰出金) 二百万円
- (ロータリー除雪車購入費) 一千四百三十万円
- (岡畑線舗装、中電線改良工事請負費) 四百五十万円
- (小山水上谷護岸、水谷川護岸工事請負費) 四百万円

○昭和五十一年度和泉村簡易水道事業特別会計補正予算(第一次)

今回は三百万円が補正されました。

○議会の議員の半数改選制および住民投票制度の拡張反対に関する決議について

名 称	料 金		
	一回券	回数券	一日券
和泉村村営九頭竜スキー場	一〇〇円	六回券 五〇〇円 三回券 一、〇〇〇円	一、五〇〇円
第一リフト	一〇〇円	六回券 五〇〇円 三回券 一、〇〇〇円	一、五〇〇円
第二リフト	一〇〇円	六回券 五〇〇円 三回券 一、〇〇〇円	一、五〇〇円
第三リフト	一〇〇円	六回券 五〇〇円 三回券 一、〇〇〇円	一、五〇〇円
コインロッカー	一回につき	一回につき	一〇〇円
第三 駐 車 場	普通車 一回につき 大型車(マイクロバスを含む)一回につき	二〇〇円 五〇〇円	



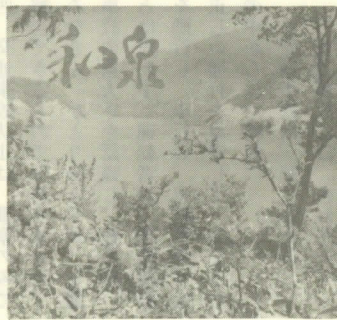
### がん征圧県大会に受賞!

#### 和泉村住民保健推進委員会

ガン対策推進のため献身的に尽力し、その功績が特に顕著であった団体として、本村の住民保健推進委員会がこのほど、ガン征圧県大会において財団法人福井県健康管理協会理事長より表彰を受けた。村内住民の健康増進をはかり、明るい家庭をつくることを目的として、昭和四十八年住民総合保健推進事業を計画し、村をあげて、あらゆる疾病の早期発見、早期治療など住民保健に対する総合的な取り組みをはじめ、この事業を進めるため住民保健推進委員会が誕生した。

本村が実施するガン検診をはじめとする総合検診に際して、各戸別に亘る受診の呼びかけ、話し合い、検診当日の検診事務の手伝い、又毎年数回つづ行なわれる研修会、

講演会などへの参加、呼びかけ等各委員の献身的な実践活動によって、従来すいぶん低調であった保健に対する意識は高揚し、各種検診の受診率は逐年向上し、特にがん検診の受診率は著しく向上した。これはこの推進委員会のたゆまない努力と協力によるものであり、村の保健推進事業に果してきた大きな、役割と功績がこの表彰につながったものである。



### 合併二十周年のあゆみ発刊

昭和三十一年九月三十日町村合併促進法に基づき、旧上穴馬村、下穴馬両村が合併し、和泉村として発足してから二十周年を迎えました。

和泉村では、二十周年を記念し合併二十周年のあゆみを発刊することにいたしました。

内容は、写真集と資料編にわけ過去、二十年間のあゆみを写真と資料にまとめたものです。

### 税(コ)ナ(一) 青色申告のおすすめ

所得税は、納税者が自分で所得や税額を計算して、申告し納税する申告納税制度になっています。自分の所得や税額を正しく計算して申告するには、毎日の取引をきちんと帳簿に基づいて正確に所得や税額を申告する人は、所得計算や税金の面でいろいろ有利な取扱いが受けられます。これを青色申告制度といいます。

青色申告をすることは、税金の面で有利になるだけでなく、帳簿をつけることによって経営の内容や資金繰り、在庫などの状況がよくわかり、経営の合理化にも役立つことから、現在では商売をやっている人の半数以上の人が青色申告をしています。

青色申告の特典の内容や手続のしかた、帳簿のつけ方など詳しくお知りになりたい方は最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ね下さい。

### 人のうぶさ

▽赤ちゃん誕生

上大納 尾崎百恵 一雄・長女



尾崎百恵ちゃん

# 訪ソ青年の船に参加して

辻 善 範君

八月十九日より三十日まで、私は訪ソ青年の船団員として、モスクワ、ピアチゴルスクの研修旅行を終えてきました。

ソ連邦が想像したよりも大きく、広がったのです。そして、どの都市も、計画性のある都市で道路、公園のどれを見ても無駄なく作られています。誰が観ても、ソ連邦が計画された国づくりであり理想の国、都市を築きあげようとしている事がどの街角を見ても分るでしょう。勿論、この計画の実現は社会主義国家における独特なものには違いないと思いますがこれが、資本主義国家である我国日本においても活用できる事とすればすばらしい事になるであろうと思います。

私達が訪門したピアチゴルスクはソ連邦の保養地とも言われている所で、カスピ海の北部にあたる地域で、コーカサス地方の中心都市でありました。この都市で私達は市の見学、市の青年達との交歓会、コルホーズの見学のスケジュールが組まれていました。市はサナトリウム(療養所)があるという事でソ連邦各地から毎日のように、多くの人々が治療に、保養に來て

います。市は緑につつまれ、公園には朝から夕方おそくまで、のんびりと体を休めている人々があり、保養地だなあ、といった感じがしました。一日中静かな保養地で日本の温泉地とは全く違って見えました。市の青年達は、日本で私達が考えていた束縛感を感じさせるものはなく、自由で伸々とした青年達で芸能交歓で私達に披露した芸能などは職場のクラブで練習している出し物と聞きましたが、大変上手で楽しい交歓会となりました。

コルホーズの訪門では農場の大きさをみてビックリ合理的なシステム規模は日本のものとは比較にならないくらい大きく作られたものでした。このコルホーズは、プロレタリアコルホーズとあって、主として牛牧を行っており他に、ひまわり、じゃがいも、とうもろこし、てんさい等を作っています。がどの畑も地平線の見える広大な畑でした。このコルホーズには農家が、一四〇〇軒、住宅区八地区、自動車一〇〇台、トラックター一〇〇台、コンバイン五〇台、肉牛六〇〇頭、乳牛二四〇〇頭がおり年間生産高は六〇〇ラルーブル



(二四億円)収入二〇〇ラルーブル(八億)といった内容を聞いて驚くばかりでした。ここにおける純利益はすべてここで働く人々に分配されるということでした。収穫は平均していますが、収穫が多いときなどは、ボーナスとして分配されるそうです。

この二十日間で学んできた事はソ連邦のほんの一片にすぎない事ですが、青年達との話し合い、コルホーズの農場見学、ナホトカ、ハバロスク、モスクワ、ピアチゴルスクの市街見学して学ぶ所は多く、これからこの経験をいかし、多活用していきたいと思えます。

## 因野警察署

### 「交通非常事態宣言」

一、県下における、交通事故の死者数は、八月に入り、急激に増加しているため、警察では、交通事故重傷事故防止による集中的指導取締りを行なって、連日、強力な指導取締りを実施しております。二、当大野警察署管内の交通事故死者数は、九月現在、すでに七名に達し、昨年の七名を上回ることも予想され、これ以上の死者は絶対に

対に出さないという意気込みで「交通非常事態宣言」

をして、毎日、死亡重傷事故抑止のための強力な取締り体制を組んでおります。

三、交通死亡事故の原因としましては、無免許運転、飲酒運転、速度超過、無理な追越し、歩行者保護義務違反、信号無視、一時不停止等によるものが多い現状です。

これらの死亡事故の原因となる違反は運転者個人の安全運転に対する心掛けにより、さけられるものと思えます。

四、交通事故防止は、警察のみで解決できるものではありません。みなさん、ひとりひとりが、交通事故の重大さを認識し、他人事とは思わず、運転者は、安全運転を励行し、歩行者、自転車乗りは正しい通行を遵守して、みなさんの中からは、絶対に

交通事故は、起こさない。交通事故には、合わない。交通事故には、誓い合うとともに実行していただきたいと思えます。

被害者の方へ

お見舞金あがり

ひょうごまつだ

台風十七号の集中豪雨による被害は、岐阜県の安八町など各地方で予想以上の被害を受け今日、明日の生活にこまっておられる被災者に対し皆さんの心あたたまる見舞金(二十万円)をいただきました。がとうございました。

早速福井県中央共同募金会を通じてご送金させていただきました。

### お知らせ

#### 歯科診療日

十月 十八日 午前九時～正午  
十月 二十二日  
十月 二十五日  
十月 二十九日

◎ 診療をうけられる方は、必ず保険証を提示して下さい。

灰皿には  
水を入れましょう

